



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1250	3.1270	3.1140	3.1150	3.1320	+0.0170
	BRL/JPY	Spot	35.27	35.29	35.56	35.33	35.34	+0.01
	EUR/USD	Spot	1.1842	1.1802	1.1856	1.1871	1.1773	-0.0098
	USD/JPY	Spot	110.26	110.32	110.71	110.04	110.69	+0.65
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.15	8.13	8.11	8.06	8.07	+0.0054
	Future	1Year(p.a.)	7.99	7.95	7.91	7.88	7.89	+0.0074
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.190	2.206	2.179	2.130	2.171	+0.041
	USD	1Year(p.a.)	2.351	2.358	2.306	2.284	2.292	+0.008
株式	Bovespa指数		65,920.38	66,516.25	67,136.00	66,777.13	66,898.00	+120.87
CDS	CDS Brazil 5y		209.27	206.40	201.84	200.99	199.37	-1.62
商品	CRB指数		182.642	180.756	181.982	180.648	180.683	+0.035

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.10台へ上昇し、2ヵ月半ぶりの高値を更新。
- 週初のレアルは3.1400で寄り付いた。トランプ米大統領が10日前に就任したばかりの広報部長を解任したとの報道からドルが売られ、レアルは3.11台まで上昇。その後、6月の伯鉱工業生産が予想を上回ったことや、弱い米経済指標を受けて週間高値となる3.1090まで上昇した。原油価格の下落につれて弱含む場面もあったが、伯下院議会が連邦検察庁によるテメル大統領への起訴を否決したことを受け、年金改革進展に対する期待感が高まる中でレアルは底堅い動きが継続した。週末にかけては予想を上回る米雇用統計を受けて売り戻しが進み、結局3.1320で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.34%、2018年が2.00%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.33%から3.40%へ上方修正されたが、2018年は4.20%で据え置き。為替レートは2017年末が3.30、2018年末は3.43で据え置かれた。
- 7月25-26日に行われたCOPOMの議事録が1日に公表された。現在の状況が続けば次回9月の会合で1.00%の利下げ幅を維持する方針であることが改めて確認されたが、先週公表された声明文の内容と比較して特段新しい材料は見られず、市場の反応は限られた。
- 1日に発表された6月の伯鉱工業生産は前月比横ばいとなり、予想の▲0.3%を上回った。第2四半期としては資本財が+5.5%、耐久消費財が+2.3%となり、インフレ低下により消費支出が緩やかに回復していくとの期待感を反映する結果となった。
- 4日に発表された7月の米雇用統計は、非農業部門の雇用者数が前月比+20.9万人となり、予想の+18万人を上回った。また失業率は4.3%と前月から横ばいとなり、2001年以来の低水準を維持した。

3. 今週のチャート&ハイライト



下院議会がテメル大統領への起訴内容を否決

2日、下院議会はテメル大統領に対する収賄容疑について、最高裁での審理開始を巡る採決を行った。結果は263票が審理開始に反対、227票が賛成となり、テメル大統領が審理開始の阻止に必要としていた172票を大きく上回る反対票を獲得。票数は事前予想と概ね合致するものだったが、政府関係者から年金改革法案が10月-11月頃には可決される可能性があるとの発言も出る中、テメル政権下での改革進展に対する期待感を高める結果となった。ブラジルの5年物CDSスプレッドは200bpsを割る水準まで低下。ポベスパ指数は利益確定の動きも見られたが、2週連続で上昇した。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.20

来週のレアルは上値の重い展開を予想する。今週は年金改革進展への期待感がレアルの底堅い動きをサポートしたが、テメル大統領への追加起訴が予想される中、汚職捜査に関連した司法取引の動向次第では再び議会での法案審議停滞に対する懸念が強まり得る状況。また、2017年の財政赤字目標修正の可能性も依然として燃っており、S&PIによる伯国債の格下げを巡る動きを含め、財政問題への警戒感が高まる動きに注意を要する。来週は9日に7月の伯インフレ率(IPCA)が発表される。前年比+2.65%まで低下すると予想されており、伯中銀の金融緩和をサポートするインフレ率の動向について内訳に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	自動車生産台数(7月) (ブラジル自動車工業会)	--	224763	212281
ブラジル	自動車販売台数(7月) (ブラジル自動車工業会)	--	184815	194954
ブラジル	自動車輸出(7月) (ブラジル自動車工業会)	--	65722	66059
米	非農業部門雇用者数変化	180k	209k	222k
米	失業率	4.3%	4.3%	4.4%
米	平均時給(前月比)	0.3%	0.3%	0.2%
米	労働参加率	--	62.9%	62.8%
米	貿易収支	-\$44.5b	-\$43.6b	-\$46.5b

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
米	8/7	消費者信用残高	Jun	\$15.250b	\$18.410b
ブラジル	8/8	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Jul	-0.42%	-0.96%
ブラジル	8/8	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Jul	-1.54%	-1.51%
ブラジル	8/8	FGV CPI IPC-S	Aug 7	0.47%	0.38%
ブラジル	8/9	FIPE CPI-週次	Aug 7	0.09%	-0.11%
ブラジル	8/9	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	Jul	0.19%	-0.23%
ブラジル	8/9	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Jul	2.65%	3.00%
米	8/9	卸売在庫(前月比)	Jun	0.6%	0.6%
米	8/9	卸売売上高(前月比)	Jun	--	-0.5%
ブラジル	8/10	IGP-M Inflation 1st Preview	Aug	-0.23%	-0.95%
米	8/10	PPI 最終需要(前月比)	Jul	0.1%	0.1%
米	8/10	PPI (除食品・エネルギー、前月比)	Jul	0.2%	0.1%
米	8/10	月次財政収支	Jul	-\$55.5b	-\$90.2b
米	8/11	消費者物価指数(前月比)	Jul	0.2%	0.0%
米	8/11	消費者物価指数(前年比)	Jul	1.8%	1.6%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。